



District  
2660

# Moriguchi Evening

## Rotary Club

2022-2023

Weekly Bulletin no.17

創立 2000年11月2日  
例会日 木曜日 18:30-19:30  
例会場 ホテル・アゴーラ大阪守口  
事務局 守口市河原町10-5  
ホテル・アゴーラ大阪守口5F  
TEL06-6995-7440 FAX06-6995-7441

会長 福田 治夫  
幹事 北山 展弘  
会報担当 クラブ運営委員会  
E-mail m-evening@msj.biglobe.ne.jp  
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~  
m-eveningrc/



イマジン  
ロータリー

- ◆国際ロータリー会長  
ジェニファーE.ジョーンズ
- ◆第2660地区ガバナー 宮里 唯子
- ◆クラブテーマ「イマジンロータリー」

### 本日例会 2023年 2月 9日(木)第922回

担当：ライラ実行委員会

卓話：「ライラについて」

福田 治夫 会長

### 前回例会 2023年 2月 2日(木)第921回

- 開会 会長
- 国歌斉唱
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 四つのテスト唱和
- 誕生日のお祝い 中道会員
- ニコニコ箱報告(小計10,000円 累計301,000円)  
北山会員 いつも幹事不在で申し訳ありません。  
中道会員 また1コ年を取りました。
- 会食
- 幹事報告  
○理事会報告
  - 2月例会開催の件  
大阪府コロナ警戒信号が「黄色」に変更されたので自由出席は解除とする。ただし、会員本人もしくは同居家族に体調不良等がある場合は出席を控えてもらうことで承認。  
2月開催日：2/2、2/9、2/16
  - 大阪城東RC創立50周年式典開催の件  
会長・幹事が出席し御祝金は4万円とすることで承認。
  - 回覧  
2/16(木)親睦食事を1F「ザ・ループ」にて開催。出欠確認の回覧を実施。
- 出席報告(会員総数23名)  
2月 2日 出席13名 (自由出席)  
メイクアップ報告  
12月15日 出席17名 欠席6名 出席率73.91%  
(メイクアップ者 1名)

#### 10. 会長の時間

#### 11. 本日のプログラム

担当：社会奉仕委員会  
卓話：「よもやま話」  
卓話者：柳本 幹男会員

- 閉会 会長  
○例会前の会合 定例理事会

### 会長の時間

確定申告の時期に入り、毎日伝票や数字とのにらめっこです。昼間は電話や来客で集中できないため、夜中の作業になってしまい寝不足が続いています。数字を見ると、自分が教師時代のことを思い出しました。私は進路指導主事をいうものを8年ほどしていました。公立高校は定員が決まっているため欠員も過員も認められません。ボーダーライン上に数名の生徒がいる場合高校の現場では議論が紛糾するそうです。確定申告用の表を作りながら、過去にもこの時期に、このような表を夜中に作っていたということを思い出した今日この頃です。

## INFORMATION

### ◆例会にご出席の皆様へ

○現在、家庭内での感染が多数みられているため、同居のご家族を含め発熱・咳・倦怠感等の体調不良がある場合は例会への出席はお控えいただきますようご協力をお願いします。

### 次回例会 2023年 2月16日(木)第923回

#### 親睦例会開催

卓話担当：クラブ運営委員会

親睦食事会場：アゴーラ1F「ザ・ループ」

※例会終了後に移動します

※アルコールもできますので、車で来会される場合は、ご注意ください。

休会連絡

2月23日

(祝日休会)

## 卓話 「よもやま話」 柳本 幹男 会員

ロータリーとポリオ根絶の経緯

1894年…米国史の記録に残る初のポリオ大流行（バーモント州）。18人が死亡、132人のまひ症状が報告される

1905年…スウェーデンの内科医オットー・イヴァー・ヴィックマンが、ポリオは人から人に感染する病気であり、症状のない人もポリオにかかっている可能性があることを指摘。

1908年…ウィーンの2人の医師、カールラントシュタイナーとアーウィンポッパーが、ポリオがウイルス感染による病気であることを発表。

1916年…ニューヨーク市でポリオの大流行が発生し、2,000以上が死亡。米国全土でも約6,000人が命を落とし、さらに数千人がまひ障害に。

1929年…フィリップ・ドリンカーとハーバード大学のルイス A. ショーが、ポリオによるまひで呼吸不全となった患者のために「鉄の肺」と呼ばれる人口呼吸器を発明。

1955年…ジョナス・ソーク博士が開発したワクチンが「安全で効果的である」と宣言される。

1960年…アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンが米国政府から認可される。

1979年…フィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される。。

1985年…国際ロータリーが、民間による国際的な公共保健イニシアチブとしては史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始。当初の募金目標は1億2000万ドル。

1988年…国際ロータリーと世界保健機関(WHO)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる。当時の症例数は、125カ国で推定35万件以上。

1994年…International Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication(ポリオ撲滅認定のための世界委員会)が、南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表。

1995年…中国とインドで、保健従事者とボランティアによりわずか1週間で1億6500万人の子どもにワクチンが投与される。ポリオのない国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリーが「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる。

2000年…5億5000万人（世界人口の10分の1近

く）という記録的な数の子どもに経口ポリオワクチンが投与される。オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言される。

2003年…12カ月間のキャンペーンでロータリー財団が1億1900万ドルの募金に成功。ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超える。常在国の数は6カ国となる（アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン）。

2004年…アフリカの23カ国で8000万人の子どもを対象に一斉に全国予防接種日を実施される。アフリカ大陸で最大規模の一斉ポリオ予防接種活動となる。

2006年…ポリオ常在国数が4カ国に（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）。

2009年…ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルに。1月、ビル&メリнда・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件に、ロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表。その結果、世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付される。

2011年…ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、各界の著名人がこれに参加。参加した著名人には、ビル・ゲイツ、ジャッキー・チェン、デズモンド・ツツ（ノーベル平和賞受賞者）、イツァーク・パールマン（バイオリニスト）、アンジェリーク・キジョー（グラミー賞受賞歌手）、ジェーン・グドール（動物行動学者）などが含まれる。ポリオ撲滅へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超える。

2012年…インドで丸1年にわたりポリオ症例が確認されなかったことを受け、同国がポリオ常在国リストから除外される。これにより、ポリオ常在国数は3カ国のみに。ロータリーが予定より5カ月以上早く「2億ドルのチャレンジ」の募金目標を達成。

2014年…インドで3年間、野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったため、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域のポリオ撲滅を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少。

2019年…ナイジェリアでは、野生型ポリオウイルスによる新たな症例が3年間発生していません。

2020年…世界保健機関は、アフリカ地域に野生のポリオがないことを証明しています。

（国際ロータリーHPより抜粋）